



いしかわ労福協

第 504 号 2010年1月15日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 上田弘志
編集人 宮下 亮
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

謹賀新年



珠洲「木ノ浦の朝日」元石川労福協専務理事 前後 和雄氏

人と暮らし、環境に優しい 福祉社会をめざして

石川県労働者福祉協議会

理事長 上田 弘志



新年明けましておめでとうございます。

昨年も自治体・労働団体・事業団体をはじめ、関係各位のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。石川労福協はこの1年、労働者福祉運動の更なる前進に向け「目に見える労福協」「行動する労福協」を基本に活動を展開してきました。

日本経済は、サブプライムローンやリーマンブラザースの破綻など、米国発の不況が全世界を覆い、「百年に一度」といわれた未曾有の経済危機の中、「派遣切り」や「雇い止め」などの言葉がマスコミを賑わす社会となりました。一方、医療や年金などの社会保障制度への不信を背景に、生活者の将来不安が増し、少子高齢化社会の進展、人口の減少などの社会構造の急激な変化に対して、地域での労働者福祉事業の新たな取り組みが求められています。

石川労福協は、各事業団体と共に、福祉活動の充実・強化のため、互いに連携を図り、子育て支援や福祉なんでも相談、就業支援事業を展開し、県内に働く勤労者をはじめ、県民の生活支援活動などを積極的に行ってきました。

2010年も種々の課題が山積しています。景気回復は進まず、デフレと円高の同時進行、そして株安までもが同時に進んでいます。今、雇用状況は大変厳しく、非正規と呼ばれる労働者が増加し、低所得・不安定雇用層の拡大、メンタルヘルス不調者、過労死・過労自殺も多く、社会の歪みとして深刻な問題になっています。

今こそ、「連帯と相互の支え合い」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの社会が大切であり、人と暮らし、環境に優しい福祉社会を実現すべきです。

全ての働く人たち、退職者・高齢者との連携を図り、労働者自主福祉活動の充実、生涯福祉の向上を目指し、石川労福協を構成する連合石川の労働組合や労働金庫、全労済、労信協をはじめ各事業団体の皆さんと共に「暮らしの総合サポートセンター」として地域社会に貢献する「石川労福協、ライフ・サポートセンター」を目指します。

関係各位の皆さんのご理解とご協力・ご奮闘を重ねてお願いし、新年の挨拶とします。

石川労福協・連合石川共催「2010新春の集い」

連合石川結成20周年記念祝賀会



「新春の集い」の冒頭、上田弘志労福協理事長・連合石川会長は連合石川結成20周年にあたり、連合結成当時の諸先輩のご努力に感謝するとともに、非正規労働者が増加し、社会的格差が拡大する中、「ストップ 格差社会」が連合のスローガンとなったと訴えた。

また、昨年8月30日の衆議院選挙で、戦後の政治史上初めての投票による政権交代が実現したことへの感謝とともに、本年の県知事選挙や参議院選挙を通じて、多くの政策実現に向けて全力で取り組むと挨拶した。

今年の課題として一つ目は、2010年春季生活闘争であり、厳しい経済・雇用環境ではあるが、非正規労働者を含む全ての労働者を対象に、「賃金水準の維持」を図らねばならないとした。2つ目は7万人連合石川を目指すことであり、労働組合は社会の安心、安全のためには欠くことのできないインフラであるとの認識の共有を進めるとした。3つ目は7月の参議院選挙であり、政権運営の安定には参議院選挙の勝利が求められる。連合組織内候補10名の全員当選を果たすとした。4つ目は労働者福祉運動であり、雇用状況は厳しく、非正規労働者が増加し、低所得・不安定雇用層が増え、社会の歪みが深刻な問題となっている。今こそ、「連帯と相互の支え合い」という協力原理が活かされる社会、ぬくもりある思いやりの福祉社会を実現すべきであるとした。

最後に、20周年を迎え、歴史に学び、未来に向かって変われることを恐れず、様々な課題に挑戦していきたいとして挨拶を結んだ。

来賓の谷本正憲県知事、山出保金沢市長、一川保夫民主党石川代表が祝辞を述べた後、宮西実連合石川名誉顧問の発声で乾杯し、引き続き、宮下登詩子社民党石川代表、金原博新進石川代表、奥田建民主党代議士、田中美絵子民主党代議士、近藤和也民主党代議士が挨拶し、連合石川地方議員団が壇上に並び、それぞれ今年の決意を述べた。

最後に、嶋垣利春労福協副理事長が閉会挨拶し、上田弘志労福協理事長・連合石川会長の団結ガンバローで2010年のスタートを切った。

石川労福協・連合石川共催の「2010新春の集い」は1月5日(火)、金沢市のANAクラウンプラザホテルで開催された。

本年は連合石川結成20周年にあたり、20周年記念祝賀会も兼ねて、来賓や事業団体、地域LSC、連合石川、地協の役職員、推薦議員団など約300名が出席し、連合石川結成20周年記念講演、記念式典、記念祝賀会(新春の集い)の3部構成で開催した。

厳しい雇用環境の中、2010春季生活闘争や県知事選・参議院選の勝利や労福協として「目に見える労福協」「行動する労福協」を目指すとの決意を新たにした。



上田理事長主催者代表挨拶



出席者に挨拶する役員

来賓祝辞



谷本県知事



山出金沢市長



一川参議員



宮西名誉顧問が乾杯



宮下社民党代表



金原新進石川代表



奥田民主党代議士



田中民主党代議士



近藤民主党代議士



記念講演 経済アナリスト森永卓郎氏



記念式典 連合石川スライド20周年の歩み



石川労福協第6回理事会

石川労福協第6回理事会が12月18日(金)フレンドパーク石川で開催され、最初に理事代理の選任として、前連合石川副会長・JP労組の曾谷修氏が退任し、新たに連合石川副会長・JP労組の中西伊知郎氏を理事代理とした。また、労福協の新嘱託職員として、吉田寿子氏と上野貞彦氏が紹介された。

協議事項として、連合地協再編にともなう地域LSCの体制見直しを図ることとし、まずは河北LSCの体制見直しを協議し、順次各地域LSCと協議していくこととした。また、緊急サポートネットワーク事業における自治体の新ファミサポ移行に向けた動向を把握するため、1月に各自治体訪問を行うとした。労福協、各事業団体の課題として労金の全国統合や全労済の50周年記念事業、新公益法人制度への対応など多くの課題があり、連合、労金、全労済、労信協、労福協で1月に「将来構想懇談会（仮



称)」を設置し、協議していくとした。

「2010年新春の集い」を連合石川との共催で1月5日(火)にANAクラウンプラザホテルで、開催することを確認した。

最後に、次回理事会は2010年2月16日(火)10時より、フレンドパーク石川で開催を決めた。

「さわやかU」餅つきボランティア

いしかわ介護ボランティアセンター（略称 さわやかU）は、12月5日(土)に年末恒例となっている餅つきボランティアをかほく市七窪の障害者施設「ライフクリエートかほく」で開催した。今回は施設利用者、職員、家族、地域住民など約120名とさわやかUボランティア会員18名が参加した。

10時45分から始まった開会式は、澤信俊理事長の挨拶から始まり、施設の松原さんから御礼の言葉があり、早速全員で餅つきを始めた。今年は例年以上に参加者が多いため、もち米を45キロ(15臼)も用意し、臼と杵も2セット用意し、施設利用者や家族の方も参加し、楽しく作業を進めることができた。

昼食には、出来上がったきな粉餅、小豆餅、おろし餅などを食堂で、「二胡」の演奏を聴きながら

んちん汁と一緒に食べた。午後2時には後片付けも終了し、ケガすることもなく無事解散することができた。ボランティアに参加していただいた皆さん、本当にありがとうございました。



さわやかUマネジャー 守山保夫

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員登録状況／サポート状況 2009年12月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	11	11
わじま	2	12	5
ななお	7	4	0
はくい	4	6	6
かほく	19	62	15
かなざわ	162	429	761
はくさん	38	83	15
こまつ・のみ	20	40	55
かが	0	0	0
計	258	647	868





更なるセーフティネットの 拡充・強化を目指して

石川県知事

谷本 正憲

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新春をご健勝でお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃から県政の推進に深いご理解とご協力を賜っておりますことに、本誌面をお借りして心から感謝申し上げます。

本県の経済・雇用情勢は、「百年に一度」と言われる経済危機の中、依然として大変厳しい状況が続いております。特に、雇用面では有効求人倍率が昨年8月には過去最低の0.45倍となり、その後も低い水準で推移するなど、かつてない大変厳しい状況が続いているため、一昨年来、職を失った方々に対する雇用と職業訓練の受け皿確保や、高校卒業予定者への就職支援など、時期を逸することなく対策を講じてまいりました。

今後とも、経済・雇用情勢を注視し、更なるセーフティネットの拡充・強化に向け、適時適切な対応に努めるとともに、雇用情勢の悪化に伴う雇用・労働問題や労働条件等の解決についても石川労働局と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。

また、貴協議会においては、無料職業紹介所「ジョブいしかわ」により、中高年層の未就業者や働く意欲のある高齢者の就職支援に取り組んでおられ、関係各位のご尽力に感謝申し上げます次第であります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援・ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



地方分権により地域主権を 確立し、自立度の高い 市政を実現する

石川県市長会

会 長 山出 保

(金沢市長)

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、市政の推進に多大なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、世界的な同時不況による影響を受け、我が国においても有効求人倍率や失業率が過去最悪の水準まで悪化するなど、非常に厳しい経済・雇用情勢が続いた1年でもありました。

こうした中、私ども各自治体といたしましても、住民の暮らしを守り、地域経済の活性化を図るため、国の施策に呼応した緊急雇用創出事業により新たな雇用を確保するほか、中小企業への支援など様々な施策に取り組んできましたが、今後とも、市民生活の安定に最善を尽くしてまいりたいと考えております。

また、金沢市においては、これまでも景気・雇用対策を最優先課題としてきましたが、引き続き、内需の拡大や雇用の確保に努めながら、福祉・環境・教育への対応やまちの魅力と活力を高める施策の推進に全力で取り組んでまいります。

石川県市長会としましても、地方分権により地域主権を確立し、地方の実態に即した自立度の高い市政を実現するため、市民生活の安全・安心の確保や循環型社会の形成などの課題に、懸命に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりましたが、皆様方のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も格段のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

新年おめでとう

石川県労働者福祉協議会役職員一同

事務局長			アドバイザー			事務局次長			監事			理事			常務理事			専務理事			副理事長			理事長			
〃	〃	〃	事務局長	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
上野	吉田	紙谷	吉村	直江	一明	谷内	酒井	奥井	高井	南村	田村	中西	西田	湊口	柚木	柴田	天満	光林	狩山	水野	山口	表坂	宮下	才田	本田	嶋垣	上田
貞彦	寿子	奈子	和実	圭祐	政行	英明	敏次	良信	芳晴	高広	隆三	知郎	満明	洋伸	光	康廣	信夫	邦彦	久弥	志郎	重隆	哲治	亮	巖	和雄	利春	弘志
(専)	(専)	(専)	(専)	(専)	(専)	(専)	(運)	(J)	(自)	(私)	(高)	(J)	(電)	(情)	(県)	(U I セン	(電機)	(J A)	(連合)	(全労)	(北陸)	(生協)	(労信)	(専)	(全)	(北陸)	(連合)
							輪	R	治	鉄	P	力	報	教	機	合	石	川	庫	連	協	信	從	從	從	從	從
從	從	從	從	從	從	從	連	合	労	連	組	組	連	連	組	合	M	川	庫	連	協	從	從	從	從	從	從



各町の振興発展と 住民福祉の向上に 決意新たに取り組む

石川県町長会
会 長 村 隆一
(津幡町・町長)

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、輝かしい平成22年度の新春を清々しくお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も、県内各町の振興発展と住民福祉の向上に決意新たに取り組みますので、力強いご支援とご協力をお願いいたします。

さて、米国発の金融危機から派生した現下の厳しい経済情勢と雇用環境、進展する少子高齢化社会や地球温暖化に代表される環境問題など、当面する課題は世界各国、地球規模にも及び、私達は百年単位の歴史の大きな変革期の真っ只中にいるように感じられます。

そして、私ども地域社会においても上述の問題が根底にあって、人口減少や財政状況の悪化等から、地域の医療や福祉、産業や交通、環境や教育問題など、あらゆる方面での課題が深刻化し、行政に求められる対応も多様化、複雑化してきています。

ただ、こうした課題を行政だけで解決することは困難であり、私達は住民を主役にした新しいビジョンを掲げるとともに、「自助」「共助」「公助」の理念で、地域や企業の方々々と手を携えながら、希望の持てる不安のない新しい時代を築くべく、しっかりと行政運営に当たりたいと思います。

石川労福協並びに関係各位におかれては、住民、事業者、行政の「絆」づくりの橋渡しに一層のご協力ご支援をお願いいたしますとともに、本年が皆様方にとって健康で幸多い一年でありますようお祈りしまして、年頭のご挨拶といたします。



連帯・協同でつくる 安心・共生の福祉社会

労働者福祉中央協議会
会 長 笹森 清

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、国民の激しい怒りの中で政権交代が実現し、日本の政治体制が大きく転換しました。しかし、経済や雇用は依然として深刻な状況にあり、30年にわたって吹き荒れた新自由主義の嵐は、社会の分断や地域の崩壊など、日本社会に深い傷跡を残しています。ここからどう再生していくか。国民生活を第一義とする新政権の真価が問われるのはこれからです。政権を選択した国民も、傍観者であることは許されません。

働くことは生きること。その働くという現場が破壊され、生活が壊されていくことに対して立ち向かわない労働運動や福祉運動はありえない。貧困をなくし、人と人とのつながりを再生し、「すべての人が居場所を見出すことのできる社会」にするために、政治にも私たちの運動にも”魂”を入れていかなくてはなりません。

中央労福協は60周年の節目にあたる昨年11月の総会で、10年先を見据えた「労福協の理念と2020年ビジョン」を採択し、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって挑戦していく決意を全体で共有しました。これからの社会は、市場や国家のみならず、私たち連帯・協同セクターが国民の暮らしを支え、社会改革の担い手として重要な役割を果たしていくなくてはなりません。

そのためにも、労働組合と協同事業団体が一体となって、国民の共感を呼ぶ社会運動や事業、地域に根ざした顔の見える活動を展開していくことが必要です。中央労福協はこれからも「福祉はひとつ」という設立の原点を忘れずに、労働運動、協同事業団体、消費者運動、NPO・市民運動を結びつける“かすかい役”としての役割を果たしていきます。

新しい時代の扉は開きました。これからの私たちの行動が、社会の、国の“かたち”を決めていくのです。60年にわたり積み重ねてきた自分たちの運動にもっと自信をもって、みんなの思いをひとつにし、新しい「理念とビジョン」に基づき、社会を変えていく確実な一歩を踏み出しましょう！

新年あけましておめでとうございます。今年もご支援ご協力をお願いします。

加賀地域ライフ・サポートセンター 会 長 中川 貢 事務局 伊藤 謙次	小松ブロック運営委員会 委員長 紺谷 充弘 事務局 安村 裕之	能美ブロック運営委員会 委員長 山下 秀信 事務局 富田 航	小松・能美地域ライフ・サポートセンター 会 長 庭田 茂男 事務局 辻 洋志	白山・野々市地域ライフ・サポートセンター 会 長 油 省三 事務局 福村 滋	西ブロック運営委員会 委員長 浦 和彦 事務局 掛場 誠一	南ブロック運営委員会 委員長 柚木 稔 事務局 掛場 誠一	東北ブロック運営委員会 委員長 山口 幸男 事務局 久富 象二	金沢地域ライフ・サポートセンター 会 長 綿 征一 事務局 谷内 英明	河北地域ライフ・サポートセンター 会 長 釜井 誠次 事務局 安江 秀和	羽咋地域ライフ・サポートセンター 会 長 山田 吉博 事務局 上田 清春	七尾・鹿島地域ライフ・サポートセンター 会 長 野田 昭一 事務局 井村 幸喜	輪島・穴水地域ライフ・サポートセンター 会 長 上野 正剛 事務局 萬亀 弦治	珠洲・能登地域ライフ・サポートセンター 会 長 宮藤 祐健 事務局 加藤 政道
---	---------------------------------------	--------------------------------------	--	--	-------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	---	--	--	---	---	---



「日本労金」設立に向けての 準備と石川らしい 労働金庫づくり

北陸労働金庫

石川県本部長 嶋垣 利春

2010年明けましておめでとうございます。会員各位をはじめ皆様方には、ろうきん運動の推進に深いご理解と多大なご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、本年は「寅」年にあたります。寅年生まれの方は、目標を決めたらすぐ行動に移し、燃えたるような積極果敢にチャレンジする性格を持っています。一方、母親のような深い愛情と思いやり、人に奉仕する気持ちを持ち、豊かな人生を送れるそうです。

また、今年は参議院選挙が行われ、統一地方選挙を1年後に控える年でもあります。こうした選挙は私たち働く者にとっても、生活者にとっても生きていく上でとても重要で大切な選挙であろうと思っています。昨年8月30日、衆議院選挙で民主党が勝利し、歴史的な政権交代が実現しました。しかし、未だに日本経済は混迷し、働く者、生活者にとって厳しい、深刻な社会状況が続いています。このような社会状況の中、皆さんと一緒にいつまでも「安全で安心」して暮らせる社会環境を求めて頑張っていかなければならないと決意を新たにしています。

さて、戦後の混乱期の食糧難、住宅難、物資不足の中で労働者が自らの手で生活を守ろうとした労働者福祉運動の高まりによって、1950年に我が国に初めての労働金庫が岡山県と兵庫県に誕生しました。その後、1954年に全国36番目の働く者の金融機関として石川県労働金庫ができました。現在の北陸労働金庫は8年前の平成13年に石川、福井、富山の3県が統合し、今新たに「日本労金」設立に向けて準備、議論が進められております。

統合の時期については2012年4月となっていますが、会員をはじめご利用いただいている全ての皆様のご理解、ご協力なしでは前に進みません。もし皆様のご理解を得て「日本労金」となりましても、これまで通り「石川らしい労働金庫」として、会員の皆様に喜んで安心してご利用いただける労働金庫でありたいと思っています。

最後に、会員皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げますとともに、労働金庫に対しまして、より一層のご理解、ご協力を重ねてお願いし、新年のご挨拶といたします。



創立50年を契機とした 助け合い運動をめざして

全労済石川県本部

理事長 本田 和雄

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、労福協をはじめ協力団体、組合員の皆様のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨今の情勢は、団塊世代の大量退職、少子高齢化、雇用不安など全労済においても厳しい状況でありました。明けて2010年はおかげさまで全労済石川県本部、石川県勤労者共済生活協同組合は2010年8月10日に創立50周年を迎えることになります。創立以来幾多の困難を乗り越えながら発展できたのも、ひとえに労福協、協力団体、組合員の皆様方のご支援とご協力のたまものと心から感謝申し上げる次第でございます。

今回、50周年事業として、組合員、協力団体への感謝の活動、地域交流イベント、社会貢献活動、記念拡大キャンペーンなど創立50周年記念事業を行う予定でございます。50周年のタイトルとして「ありがとう50年これからも全労済」とさせていただき、原点に立ち返り、これまでの50年に感謝し、これからの50年を組合員皆様の安心と安全を一層高め、助け合い運動を広めていく所存でございますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、念頭のご挨拶とさせていただきます。

ろうきん自動車ローン 2010年5月31日まで

無担保 **くるま自慢**

キャンペーン実施中!

テレビCMでおなじみ、「くるま自慢」があなたのクルマ選びを応援します!

キャンペーン最優遇金利 変動 **1.90%** ~ 年 **2.60%** 基準金利

◆ご融資額 最高500万円 ◆ご返済期間 最長10年
◆ご返済方法 毎月返済または、毎月返済・ボーナス返済の併用
※保証料は0.5%または年1.4%が別途必要です。
※上記金利は、2010年1月4日現在適用中。
※審査の結果、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

詳しくは、最寄りの〈ろうきん〉までお問合せください。 **北陸ろうきん** **検索**

あけまして
おめでとうございます。

NEXT50 いしかわ

~ありがとう50年 これからも全労済~

—ZENROSAI—

**一人ひとりの声をチカラに、
確かな未来をつくっていく。**

こくおん共済	〇総合医療共済	〇せいのけい共済
かんきん共済	〇自然災害火災共済	〇自然災害火災共済
マイカー共済	〇自賠責共済	〇交通災害共済
団体生命共済	〇セレクト旅行共済	〇雇用共済

全労済は、富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆様の安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいている組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら **全労済**

全労済の各共済事業は、全労済の各共済事業として実施されています。



協同組合の原点を見つめて

石川県生活協同組合連合会

会長理事 横山 和男

新年明けましておめでとうございます。昨年は労福協をはじめ各事業団体、自治体の皆様にはご厚情を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、昨年 2009 年は「生協運動の父」といわれる賀川豊彦の献身 100 年にあたりました。賀川豊彦は愛の精神にもとづいて、人々の人格や人権が尊重される校正で平和な社会を実現するため、その全生涯をささげ、日本の近代化に大きな足跡を残しました。

戦後 60 年を経過し、日本のあらゆる方面での腐敗と墮落、モラルの荒廃、貧困・格差の拡大、環境破壊などが深刻化する今、石川県生協連合会では賀川豊彦の献身 100 年を期し、生涯と精神、理論の実践を学ぶ第 17 回石川県生協大会をこの 2 月に開催いたします。協同組合の原点を見つめ直し、地域や組合員の暮らしに貢献する生協運動につなげていく所存でございます。

食の安全分野では、依然として消費者に不安を与えるような問題があります。また、食料需給についても消費者にとっては大きな問題です。消費者庁が設立され、さらに消費者団体への期待も高まっている折、今年も皆様のご支援をいただきながら取り組みを進めて行きたいと存じます。

一人は万人のために、万人は一人のためにとの理念のもと、本年も地域の信頼と期待に応えうる運営に努めてまいりたいと思います。何卒、ご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い致します。



安定した保証事業と 勤労者の生活支援を 目指して

財石川県労働者信用基金協会

理事長 坂本 哲治

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新たな年をすがすがしくお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、石川労信協に対します深いご理解と心温まるご支援・ご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて本年も、大変厳しい経済情勢にあって、勤労者の雇用問題など一段と厳しさが増していますが、21世紀初頭の「移行期危機」などとも言われた前年までとは違い、本年は「庚寅（かのえとら）年」、新政権による新しい体制・仕組みが形作られ、揺るぎなきものに仕上がるものと期待されています。

石川労信協の当面する課題としては、日本労働金庫設立に絡んで予測される保証機関問題と新公益法人制度申請問題などがありますが、これらの課題は先人が築き上げてきた労福協運動の精神を今一度再構築すべき問題にも発展しかねない重要な課題でもあります。

このような状況の中、石川労信協は当協会の設立趣旨・目的を踏まえ、勤労者のための保証機関として安定した事業運営に努めるとともに、北陸労働金庫等が取り組んでいる「勤労者の生活応援運動」に積極的にに関わり、勤労者の生活支援に努めるなど、全ての労働者の負託に応え、石川県内における労働者福祉運動の一翼を担っていく決意を新たにしています。

最後になりますが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げますとともに、旧年にも変わらぬご指導・ご鞭撻をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

事務局日誌

開催日	曜日	会 議・行 事	開催場所
1月4日	月	2009.1月事務局会議	フレンドパーク石川
1月5日	火	労福協・連合石川新春の集い	ANAホテル
1月6日	水	平和運動センター2010年新春の集い	スカイホテル
1月8日	金	連合かなざわ・金沢LSC新春の集い	労済会館
1月9日	土	石川民社・友愛連絡会新春の集い	金沢都ホテル
1月13日	水	羽咋・七尾・中能登・宝達 緊サボ自治体周り	
1月14日	木	白山・野々市LSC新春の集い	白山市学習センター
		珠洲・能登・輪島・穴水 緊サボ自治体周り	
1月15日	金	かほく・津幡・内灘・野々市 緊サボ自治体周り	
1月18日	月	小松・川北・能美・白山 緊サボ自治体周り	
1月20日	水	第31回ユニトラ協力委員会	フレンドパーク石川
1月21日	木	金沢勤労者福祉サービスセンター評議委員会	勤プラ
1月26日	火	第1回労福協将来構想懇談会	フレンドパーク石川
1月28日	木	中部労福協第4回幹事会(～29日)	神戸

恭賀新年

石川県労働者信用基金協会

金 沢 市 西 念 3 丁 目 3 番 5 号
TEL (076) 261-4347

生 協 連

石川県生活協同組合連合会

金 沢 市 西 念 3 丁 目 3 番 5 号
TEL (076) 264-0550



スポーツで職場・地域の 交流や触れ合いを深めよう

石川県勤労者体育協会

会 長 中谷 喜和

新年明けましておめでとうございます。

自治体をはじめ競技団体、企業、労働団体、勤体協役員の皆様方には、事業の推進に温かいご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

去年は、世界的金融危機等による景気後退が続く中、衆院選においてマニフェストを掲げた民主党が圧勝、念願の政権交代が実現しました。

一方、スポーツ界においてもゴルフの石川遼選手をはじめとする若きヒーローの活躍が目立ち、世代交代の形で私達に夢と感動を与えてくれた年ともいえます。常に申し上げていることですが、スポーツ界で培った豊かで活力ある心身は、高齢化社会の生活に不可欠であり、重要な役割を担っていると言えます。

勤体協は、これからも職域や地域に広くスポーツの普及拡大を図り、県内各地で誰もが楽しく参加できる各種大会を開催し、スポーツを通して勤労者の交流や触れ合いを深めてまいります。

また、各地域ライフ・サポートセンターのスポレク部会とも連携し、生涯スポーツやスポレク部門の育成・継続・定着を図ってまいります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



60回を迎える勤美展の年

石川県勤労者文化協会

会 長 大樋 長左衛門

(文化功労者)

新しい年が明けました。

皆様いかがお過ごしですか。心新たに明るく暮らしやすい社会づくりにスタートされたことと思います。

私たち勤労者美術展は、今年60回展を迎えます。半世紀を超え、更に次の時代に入って早、10年が経過しようとしています。1951年に石川県主催で始まった、この展覧会は勤労者の文化活動の促進に役立ちました。

そして、1966年に私たちの勤労者文化協会が創立され、同年の第18回展から今日に至るまで県と共催の形で、毎年開催を続けてきました。今では勤労者だけの美術展ではなく、県内のアマチュア美術愛好者の登竜門として定着しております。この美術展の他に県内を巡回する展示会も行っており、美術・文化の進んだ石川県の底辺をしっかりと固める役割を果たしております。

また、美術活動以外にも研修会や各種教室、そして華道や文芸などの文化活動にも精を出しています。

世の中、景気が一向に良くなりず、暗い話ばかりですが、このような時こそ美術・文化の活動を広め、生きがいのある明るい人生づくりに寄与したいものです。この一年、共に頑張りましょう。

2010 第44回 石川県勤労者 冬季体育大会

開催地	開催日	種 目	場 所	申込締切日
金 沢	平成22年2月 7日(日)	卓 球	金沢市総合体育館	1月25日(月)
金 沢	平成22年1月31日(日)	バスケットボール	額谷ふれあい体育館	1月22日(金)
白 山	平成22年2月14日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	1月22日(金)
金 沢	平成22年2月14日(日)	バスケットボール	いしかわ総合スポーツセンター	1月22日(金)
白 山	平成22年2月21日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	1月22日(金)
金 沢	平成22年2月21日(日)	バスケットボール	いしかわ総合スポーツセンター	1月22日(金)
内 灘	平成22年3月 7日(日)	バスケットボール	内灘体育館	1月22日(金)
白 山	平成22年3月21日(日)	バスケットボール	白山市若宮体育館	1月22日(金)
金 沢	平成22年3月28日(日)	バスケットボール	金沢市中央体育館	1月22日(金)
白 山	平成22年3月14日(日)	バドミントン	白山市若宮体育館	3月 1日(月)
金 沢	平成22年3月 7日(日)	ソフトバレーボール	いしかわ総合スポーツセンター	2月22日(月)
金 沢	平成22年3月14日(日)	卓 球(3人3W)	金沢市総合体育館	3月 1日(月)



主催 「遊び心」という名の夢を健康社会にかえる
石川県勤労者体育協会
金沢市西念3丁目3番5号
(申込先) TEL 076-223-6675・FAX 076-223-6775

後援 北 国 新 聞 社
石 川 県 教 育 委 員 会
石 川 県 勤 労 者 福 祉 協 議 会

第40回石川県勤労者 早春書画・生花展

と き 平成22年1月28日(木)～1月31日(日)
午前10時～午後6時

但し、最終日は午後3時まで

ところ **アートシアターいしかわ**
金沢市片町2丁目2番5号
ラブリ片町7FギャラリーI

◇主 催 石川県勤労者文化協会

◇後 援 北国新聞社、石川県労働者福祉協議会

◇作品搬入 **書画の部**

- ・ 1月23日(土)～24日(日) 午前10時～午後4時
- ・ 石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)

生花の部

- ・ 申込締切 1月22日(金)
- 石川県勤労者文化協会(郵便・電話・FAX可)
- ・ 1月27日(水) 午後4時～午後8時(本展会場へ)

(注) お花の管理は各自ですること

◇問合わせ 石川県勤労者文化協会

TEL (076) 231-1746 FAX (076) 231-1731
金沢市西念3丁目3番5号(フレンドパーク石川3F)



社会の転換期をむかえて

NPO法人
いしかわ介護ボランティアセンター
代表理事 澤 信俊

新しい年をむかえ、真の新しい福祉社会の実現に向けて微力ながら努力したいと思います。

昨年末、恒例の京都・清水寺官長が書した一文字は「新」でした。記憶に新しい8月30日の政権交代は、わが国の近現代史における真の民主主義への転換と新しい社会の形成の出発点を意味しており、もう我慢ならないという有権者の良識にもとづく、歴史的な判断であったと評価しています。

1947年5月3日の日本国憲法施行によって、わが国の民主主義は社会制度として誕生したけれども、その後の62年間、魂が吹き込まれないままに半世紀以上が過ぎました。この間、もともと生活の安心と安全を保障するはずの民主主義は、一向に成熟することなく、21世紀に入って私たちの生活不安は日に日に増加し続けており、ここに資本主義の矛盾の顕在化が見てとれます。

この矛盾を解決するには、正義心にもとづく「寛容」の精神を根本にして、行き過ぎた自由を戒め、自由と平等の均衡ある社会、資本主義と民主主義の持続可能な成熟社会を目指すほかないと思います。「自由」と「平等」、「資本主義」と「民主主義」は社会の両輪であり、絶対に欠かせない理念です。これからの私たちは、この理念に立って良識ある判断と行動に責任を持たなければなりません。

労働者福祉協議会が先頭に立ち、正義心と寛容心を大切にして思いやりのある福祉社会づくりに貢献されることを祈念します。



希望と安心の 社会への転換を

連合石川
会長 上田 弘志

新年明けましておめでとうございます。

今から20年前の1989年12月12日、連合石川は「平和・幸せ・豊かさを求めて」をスローガンに掲げ、結成大会を開催しました。この20年間、総じて厳しい環境下の運動を強いられてきたと言えます。特に小泉政権以降、製造業務への派遣労働など非正規雇用労働者の急増を招き、ワーキング・プアと呼ばれる低所得層の急増も見られ、いわゆる格差社会が到来し、貧困問題の深刻化も懸念されています。

また、私たち連合運動の基礎とも言うべき労働組合の組織率は低下を続け、1989年の連合石川結成当時の7.1万人から、2008年6月には5.9万人にまで減少しています。組織率の低下が組織運動力の弱体化の大きな要因の一つであることは否めない現実だと思っています。

今、雇用失業情勢は厳しい状況にあり、これまで経験したことのない極めて深刻な状況に陥る懸念が高まっています。これを打破するためには、雇用をつくり、雇用を守るための安定した雇用システム、安心できる社会保障の仕組みの再構築、内需主導型経済システムへの転換に、全力を傾注していかなければなりません。

連合石川は、公正と連帯を重んじる社会への転換を図るため、労働組合の役割と責任を自覚し、希望と安心の社会の実現に向けて取り組んでいきます。

石川労福協をはじめ、各事業団体の益々のご発展を祈念し、連合石川に対するより一層のご支援とご協力を重ねてお願い申し上げ、新年のご挨拶とします。

労福協事務局の新職員ご紹介



石川県勤文協事務局次長
金沢地域LSC事務局次長
吉田 寿子

1968年から1991年の間、金沢地区労で三人の事務局長から「書記とは?」「労働組合とは?」「組合と政治」を学び、一人前になったかなと思ったら地区労解散。1991年7月から連合金沢に勤務。2009年11月に地協再編で「連合金沢解散」新「連合かなざわ結成」と定年が重なり、退職。

その後、縁あって12月から「石川労福協」に勤めることになりました。仕事は「勤文協と金沢ライフを」と言うことなので、まずは勤文協の仕事として田上さんの見習いに。金沢ライフでは、谷内さんをはじめスタッフの皆さんにいろいろ習いながら特訓中。目標としては、退職者の確定申告なども取り入れたいと思っています。

文化や芸術には今まで縁がなかったこともあり、戸惑いもありますが、チャレンジ精神で頑張ります。よろしくお願いします。



県LSC事務局員
住宅生協精算業務・就業支援
上野 貞彦

はじめて上野貞彦（ただひこ）と申します。
このたび、12月1日から労福協に勤務しております。

これまで、住宅生協において約20年間、住宅や宅地の供給業務を通じて、皆さんの住環境の向上に努めてくることができましたことに心より御礼申し上げます。

労福協において、私に与えられた職務は「ライフ・サポートセンター活動」や「就職支援活動」です。いずれも未経験の分野で不安は多いですが、これらの業務を通じて、皆さんの福祉向上に少しでも繋げていきたいと思っています。

今後とも、皆さんからのご指導ご協力をいただきますようお願いいたします。なお、しばらくの間は住宅生協の清算業務にあたらせていただきますことをご理解下さい。

地域ライフ・サポートセンターだより

白山・野々市

アロマキャンドル作り講座を開催



白山・野々市LSCの文化部会は、「アロマキャンドル作り講座」を市民工房「うるわし」にて、12月12日(土)午前9時より開催した。クリスマスに近い時期でもあるので、クリスマスキャンドルとしても使え、もちろん本来の目的であるアロマテラピー（芳香療法）による、心と体にリラクゼーションをもたらす効果が期待できるキャンドルとして、蜜蝋の他に10種類の色々な香りを放つ精油を、講師である塚崎早苗先生に用意していただき、講座を開講した。先生には、精製された蜜蝋と未精製の蜜蝋2種類を用意していただき、未精製の蜜蝋には香りの元となる精油を入れないで、本来の蜜蝋の香りを楽しんでほしい。そして、精製された蜜蝋の方には本日用意した10種類の精油の中で、個々人が気に入った香りを放つ精油を何種類か決めて、合計30滴混ぜ合わせることで、オリジナルの「アロマキャンドル」を作って、香りを楽しんでほしいと話した。作業は、まず蜜蝋を湯煎にかけて溶かすことから始まり、溶けきった蜜蝋の中に、あらかじめ10種類の精油の香りを確認し、参加者が気に入った何種類かの精油を数滴ずつ混ぜ合わせてオリジナルキャンドルを作成した。最後に、先生はアロマを生活の中に取り入れることで、楽しくハッピーな気持ちになれば、そのことが快適生活に繋がるので、本日参加された方はぜひ実践してほしいと講座を終えた。参加された30名の皆さんにお礼を言うとともに、今後の生活に今日の体験を活かしてほしいと思った。

白山・野々市LSC事務局長 福村滋

河 北

緊急サポ部会「会員交流」
親子でクリスマスケーキ作り

12月20日(日)、緊急サポートネットワーク部会のクリスマスケーキ作りをかほく市七窪公民館で開催した。毎年恒例の行事となって、今回が3回目となった。

前日からの寒波で、道路は20センチ近くの積雪となったが、緊急サポート会員、ライフ・サポートセンター役員を含め29家族、子供さんを含めると約50名の参加となった。

主催者を代表して釜井会長が挨拶。続いて、県労福協・緊急サポートセンターの直江さんから緊急サポート事業の現状について報告があった。

ケーキ作りは、青木クッキングスクールの加藤さんからケーキの生地づくり、クリームづくり、デコレーションの仕方の順で教えていただいた。早速、お母さんたちは子供たちといっしょにケーキづくりに悪戦苦闘。それでも昼12時にはそれぞれ自作のクリスマスケーキを手に帰宅の途につくことができた。

今夜は家族みんなで一足早いホワイトクリスマスでしょうか。 河北地域LSC事務局長 安江秀和

フレンドパーク石川防火講習会と互助会総会



冒頭、才田蔵自衛消防隊長が挨拶した後、金沢市駅西消防署予防担当の館氏によりDVD「できることから始めよう。職場の

フレンドパーク石川の「防火講習会」を12月14日(月)13時30分より、テナント役職員や自衛消防隊の責任者ら26名が参加し、開催した。



防火対策」を見て、最近の火災発生状況のポイント、防火対策の注意事項などを説明してもらった。また、防火対策ガイドブックからも「もしもの時の対応マニュアル」として、もし勤務中に災害に見舞われたらという緊急時の対応方法についても説明を受けた。

フレンドパーク石川は消防訓練として、毎年春は「避難訓練」、秋は「防火講習会」を実施している。

12月28日(月)、フレンドパーク石川で勤務する者で構成する「フレンドパーク互助会総会」を2階ホールで開催した。参加した51名の会員は、互助会の役員・幹事を確認した。

引き続き行われた「昼食会」では、互助会の才田蔵会長が挨拶し、上田弘志副会長が乾杯の音頭をとった。フレンドパーク石川に入居する各テナントのご紹介として、それぞれ代表が挨拶し、なごやかな雰囲気の仕事納めとした。